

平成 12 年度附属図書館各種委員会専門部会開催記録

附属図書館運営委員会

- ・ 第 1 回 平成 12 年 4 月 19 日(水) 13 時 30 分 ~ 14 時 40 分
- ・ 第 2 回 平成 12 年 9 月 11 日(月) 13 時 30 分 ~ 15 時

附属図書館運営委員会運用専門部会

- ・ 第 1 回 平成 12 年 7 月 6 日(木) 13 時 30 分 ~ 14 時 30 分

附属図書館運営委員会著作権専門部会

- ・ 第 1 回 平成 12 年 11 月 2 日(木) 10 時 30 分 ~ 12 時

附属図書館運営委員会システム専門部会

- ・ 第 1 回 平成 12 年 8 月 8 日(火) 10 時 ~ 11 時 40 分

附属図書館運営委員会（平成12年度 第1回）議事要旨

（1）日 時 平成12年4月19日（水）13時30分～14時40分

（2）場 所 電子図書館1階会議室

（3）出 席 者 小山委員長 横矢、藤原、福田、竹家、小笠原、谷原、
塩寄、湊、橋爪、今田の各委員

欠 席 者 森、千原の各委員

陪 席

研究開発室 砂原研究開発室室長、今井助教授、新助手、羽田助手

事務局 棚橋学術情報課長、坂本学術情報課長補佐

河本情報管理係長、池尻情報サービス係長

徳平専門職員、奥田専門職員、小谷情報管理係主任

（4）配付資料一覧

- 1・前回議事要旨（案）
- 2・運営委員会委員名簿
- 3・運営委員会専門部会委員名簿
- 4・アドバイザー委員会委員名簿
- 5・平成12年度年間行事日程
- 6・図書館の現状と課題
- 7・平成13年度概算要求

（年次計画に基づく電子図書館システムの要求）

（5）議 事

（前回議事要旨の確認）

配布資料1のとおり承認された。

（報告事項）

（1）運営委員会委員について

配布資料2に基づき、平成12年4月1日現在の各附属図書館
運営委員会委員の自己紹介がなされ、また、研究開発室構成員に

よる自己紹介、事務局から同課出席職員の紹介がそれぞれあった。

(2) 運営委員会専門部会委員について

小山委員長から、配布資料 3 に基づき、附属図書館運営委員会各専門部会委員について報告があった。

(3) アドバイザー委員会委員について

小山委員長から、資料 4 に基づき、委員 1 名の辞任の補充委員として NTT データ(株)の井上友二先生に内諾をいただいております、また、平成 12 年 4 月 30 日で委嘱期間が満了する作花文雄委員については引き続き委員をお願いし、各々平成 12 年 5 月 1 日付で就任していただく旨の報告があった。

(4) 平成 12 年度年間行事日程について

事務局から、配布資料 5 に基づき、平成 12 年度中に実施及び計画している行事日程について報告があった。

(審議事項)

(1) 平成 13 年度概算要求について

事務局から、資料 6 に基づき、電子図書館の現状と課題について説明があり、引き続き、配布資料 7 に基づき、電子図書館システムにかかる平成 13 年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、4 月 24 日に行われる学内ヒアリングでは研究開発室の増員等の充実の必要性を説明すべきとの意見が出された。

附属図書館運営委員会（平成12年度 第2回）議事要旨

(1) 日時 平成12年9月11日(月) 13時30分～15時00分

(2) 場所 附属図書館1階会議室

(3) 出席者 小山委員長、藤原、福田、竹家、谷原、塩崎、湊、森、
今田の各委員

欠席者 横矢、小笠原、橋爪、千原の各委員

陪席 奥田(橋爪委員の代理)

研究開発室 今井助教授

事務局 若松研究協力部長、棚橋学術情報課長、
坂本学術情報課長補佐、河本情報管理係長、
池尻情報サービス係長、徳平専門職員、奥田専門職員、
小谷情報管理係主任

(4) 配付資料一覧

1. 前回議事要旨(案)
2. 附属図書館アドバイザー委員会(第6回)議事日程(案)
3. NAIST 電子図書館学講座の開催について
4. 電子化進捗状況
5. 運用専門部会議事要旨(案)
6. システム専門部会議事要旨(案)
- 7-1. 附属図書館研究開発室人事について(案)
- 7-2. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館研究開発室設置要項
- 7-3. 平成10年度第2回附属図書館運営委員会議事録(平成10年7月22日)
8. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館文献複写規程の一部改正(案)
9. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用細則の一部改正(案)

議題・審議結果

冒頭、委員長より、橋爪委員から急遽、出席できないので、陪席として奥田

助教授を出席させたい旨の依頼があり、奥田助教授の陪席を諮った結果、了承された。

(前回議事要旨の確認)

配布資料 1 のとおり承認された。

(報告事項)

(1) アドバイザー委員会の開催について

事務局から、配布資料 2 に基づき、今年度のアドバイザー委員会を、来る、11月30日(木)に開催することとなった旨の報告があった。

(2) NAIST 電子図書館学講座の開催について

事務局から、配付資料 3 に基づき、来る、11月20日(月)~11月22日(水)に京都大学の協力を得て、開催することとなった旨の報告があった。

(3) 電子化進捗状況について

事務局から、配布資料 4 に基づき、前回報告以降の電子化進捗状況、特に蓄積量頁数が 100 万頁に達したことについての報告があった。

(4) 運用専門部会報告について

竹家運用専門部会委員長から、配布資料 5 に基づき、7月6日(木)に開催された運用専門部会(第1回)において協議された、資料費の配分方法や学年進行に伴う図書購入費について報告があった。

(5) システム専門部会報告について

事務局から、配布資料 6 に基づき、8月8日(火)に開催されたシステム専門部会(第1回)で報告された、第1期納入機器の更新等について報告があった。

(審議事項)

(1) 附属図書館研究開発室人事について

小山委員長から、研究開発室長の任期が2年(平成10年度第2回附属図書館運営委員会議事録)と申し合わせされていることから、平成12年1

0月1日付で現砂原研究開発室長に代わり松本情報科学研究科教授を、室員として吉川情報科学研究科助教授を配置し、研究開発室体制を充実することについて配布資料7-1～7-3に基づき提案説明があり、審議の結果、了承された。

また、現砂原研究開発室長並びに今井助教授は、引き続き少なくとも平成13年3月末まで研究開発室の業務を行っていただくこととなった。

なお、研究開発室長の任期については、今後、検討していくこととなった。

(2) 規程の改正について

奈良先端科学技術大学院大学附属図書館文献複写規程の一部改正について

事務局から、配布資料8に基づき、学術情報センターが廃止され、国立情報学研究所の設置に伴い、所要の改正を行うとの説明があり、審議の結果、了承された。

奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用細則の一部改正について
事務局から、資料資料9に基づき、平成12年6月28日国立大学図書館協議会第47回総会において、共通閲覧証の廃止が承認され、「国立大学図書館間相互利用実施要項」及び「国立大学図書館と大学共同利用機関等との相互利用実施要項」が改正されたことに伴い、所要の改正を行うとの説明があり、審議の結果、了承された。

奈良先端科学技術大学院大学附属図書館運営委員会
運用専門部会（第1回）議事要旨

1. 日時 ... 平成12年7月6日(木)13時30分～14時30分
2. 場所 ... 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館会議室
3. 出席者 ... 竹家部会長
藤原、増澤、谷原、服部、湊、小泉、今田、
奥田の各委員
- 欠席者 ... 経塚委員
- オブザーバー ... 小山附属図書館長、今井附属図書館研究開発室
助教授
- 事務局 ... 棚橋学術情報課長、坂本学術情報課長補佐、
河本情報管理係長、
池尻情報サービス係長、奥田著作権・DB担当
専門職員、徳平情報処理担当専門職員、
福井情報サービス係員、永田情報サービス係員

4. 配布資料一覧

1. 平成12年度附属図書館運営委員会運用専門部会委員名簿
2. 前回議事要旨
3. 電子図書館新システムについて
4. 平成12年度電子図書館稼働状況等報告
5. 電子化雑誌一覧、電子化図書一覧、電子化ビデオ一覧
6. 平成11年度図書購入費執行計画
7. 平成11年度図書購入費決算額
8. 平成12年度図書購入費執行計画(案)
9. 平成12年度図書等資料購入予定額表
10. 電子化対象資料の取扱いについて
11. 雑誌所蔵一覧(廃棄案)

5. 議事

< 報告事項 >

1. 平成12年度附属図書館運営委員会運用専門部会委員
配付資料.1に基づき、各委員の紹介がなされた。
2. 前回議事要旨の確認

配布資料.2に基づき、前回（平成 11 年度第 2 回）議事録が原案どおり了承された。

3. 電子図書館新システムについて

事務局から、配布資料.3に基づき、電子図書館新システムについて機能強化（検索時間の短縮、電子化データの PDF 形式での利用）を図ったとの報告があった。

4. 平成 12 年度電子図書館稼働状況等

事務局から、配布資料.4に基づき、著作権許諾の現状、資料の電子化進捗状況、見学状況及びアクセス件数について報告があった。

5. 電子化状況一覧

事務局から、配付資料.5に基づき、電子化作業の進行状況について報告があった。

< 協議事項 >

1. 平成 12 年度図書購入費の執行計画について

事務局から、平成 12 年度図書購入費の執行計画について、配付資料.8-9に基づき提案説明があり、また参考として配付資料.6-7に基づき平成 11 年度図書購入費の執行報告があった。審議の結果、今年度の各研究科の共通図書費（d）の負担を原案どおり 8%とすることです承された。

なお、事務局から、次年度の図書資料購入に当たっては、予算を十分考慮した上でタイトルの見直しをしていただくようお願いがあり、加えて、図書館図書購入費で購入している新聞、雑誌等のタイトルの見直しを行うこととした。

2. 電子化対象資料の取扱いについて

事務局から、配付資料.10に基づき、品質と作業効率の向上のために、電子化対象資料の背を裁断して電子化作業を行いたいとの提案説明があり、審議の結果、了承された。

なお、裁断した資料については、電子化の不具合等があった場合のために 1 年間保存した後、廃棄することとしたが、委員より、廃棄する際には連絡して希望者に渡してほしいとの意見が出された。

3. 雑誌の廃棄について

事務局から、前年度委員会からの継続協議事項である書架スペースの狭隘化にともなう雑誌の廃棄基準について、各研究科に照会した結果をまとめた配付資料.11 に基づき提案説明があり、審議の結果了承された。

4. その他

部会長より、学年進行に伴う図書にかかる予算の年次配分計画の進捗状況や独立行政法人化の実施方向の中で、今後の図書購入費の予算について質問があり、事務局から、現在答えられる範囲での説明があった。

また、学年進行に伴う図書にかかる予算配分計画が終了した場合の図書購入費の負担については、各研究科で事前に審議しておく必要があることが確認された。

平成12年度著作権専門部会（第1回）議事要旨

1. 日 時--平成12年11月2日（木）10時30～12時
2. 場 所--奈良先端科学技術大学院大学附属図書館1F会議室
3. 出席者--塩寄部会長
吉川、小笠原、桂樹、今元、湊、森、白井の各委員
欠席者--福田、今田委員
陪席者--小山附属図書館長
事務局--棚橋学術情報課長、坂本学術情報課長補佐、徳平専門職員、
河本情報管理係長、池尻情報サービス係長、奥田専門職員
4. 配付資料一覧
 1. 著作権専門部会委員名簿
 2. 前回、著作権専門部会議事要旨
 3. 著作権許諾の現状
 4. 平成11年度著作権許諾一覧
 5. 平成12年度著作権許諾一覧（平成12年9月末現在）
 6. 講演・講義内容のデータベース化許諾一覧
 7. 著作権許諾交渉内訳（平成11年度）
 8. 電子化雑誌一覧
 9. 電子化図書一覧
 10. 電子化ビデオ一覧
 11. 電子化進捗状況（平成12年9月末現在）
 12. 学位論文（修士論文・博士論文）のデータベース化について
 13. 著作権許諾の今後の取組について（案）
 14. 学術著作権協会とのこれまでの経緯
 15. 無償許諾学協会誌一覧
 16. 学術著作権協会電子化許諾済み学協会出版物一覧
 17. 学術著作権協会電子化未許諾学協会出版物一覧
 18. 本学所蔵電子化未許諾教官著作一覧（著編者別）
 19. 本学所蔵電子化未許諾教官著作一覧（出版社別）
5. 議 事

議事に先立ち、各委員及びオブザーバーから自己紹介並びに事務局の紹介があった。

報告事項

(1) 前回議事要旨の確認

塩寄部会長から、配付資料2により、前回議事要旨の確認を行いました。

(2) 平成11年度及びこれまでの著作権許諾の状況について

事務局から、配付資料3,4,5,6及び7により、平成11年度及びこれまでの著作権許諾の交渉状況及び実績について報告があった。

(3) 電子化進捗状況について

事務局から、配付資料8,9,10及び11により、電子化進捗状況について報告があった。

(4) 学位論文(修士論文、博士論文)のデータベース化について

事務局から、配付資料12により、学位論文のデータベース化の状況について報告があった。

審議事項

(1) 著作権許諾の今後の取組について

事務局から、配付資料13-19に基づき提案説明があり、審議の結果、以下の方針が了承された。

1. 既に電子化許諾を得ている学協会・出版社などを通じたの拡充

- ・ 図書については選定を各研究科・センターに照会し、選定されたものは電子化許諾も含めて購入する。購入代金は著作権料で支払う。
- ・ 雑誌については新規契約分は自動的に電子化許諾も購入する。電子化許諾料のみを著作権料で支払う。

2. 学協会・出版社などに関係する教官を通じたの拡充

- ・ これまで許諾を得ている無償許諾分についてはこれを継続する。
- ・ 未許諾の学協会誌については基本的に学術著作権協会を通じて許諾を得る。
- ・ 料金は電子化料が1頁10円、印刷料については本学で統計が採れるまで保留。(今年度中)
- ・ 未許諾分のうち情報処理学会出版物について再交渉を学術著作権協会に依

頼する。

- ・既許諾学協会に関しては現在未所蔵のものについても教官の要望に応じて対応する。

3. 国内雑誌バックナンバーを対象とした拡充

平成11年度からの重点課題であり、成果としてCQ出版社から許諾を得、中山書店とは価格交渉中である。現時点で保留となっている出版社が多いので、今後も繰り返し交渉する。

4. 京阪奈コンソーシアムによる拡充

京阪奈の企業10社と協議し、今後趣意書を取り交わし、コンソーシアムの設立を進める。

5. 本学教官著作を対象とした拡充

各研究科履修要覧を参考に、資料の不足を補い、教官の協力を仰ぎながら許諾を進めて行く。

6. 講演・講義内容の電子化許諾の拡充

講義関係は担当教官を通じて学生課が窓口、講演関係は研究協力課が窓口、学術情報課が撮影というように、手続のルーチン化を計り、その拡大に努める。

7. 学位論文の電子化許諾の拡充

各研究科で確立された方針に従い、論文審査請求時に合わせて承諾書を提出、公開許可時期に合わせて電子化し学内又は学内外に提供する。

8. 「電子図書館レポート 2000」の作成

他大学に対する貢献策の一環として、著作権に対する取組の状況の記事を掲載する。

附属図書館運営委員会システム専門部会（第1回）議事要旨

1．日時：平成12年8月8日（火）10時00分～11時40分

2．場所：附属図書館1階会議室

3．出席者：横矢部会長

松本委員、小笠原委員、今井委員、垣内委員、砂原委員、森委員、棚橋委員

陪席：羽田 助手

欠席者：吉川委員、箱嶋委員

事務局：坂本課長補佐、河本情報管理係長、池尻情報サービス係長、徳平専門職員、奥田専門職員、岩永情報管理係員

4．議事

< 報告事項 >

(1) 前回の議事要旨確認

資料のとおり確認された

(2) 平成11年度稼働状況報告

棚橋委員から、資料に基づき平成11年度の稼働状況について報告があり、アクセス件数について、種々意見交換があった。

(3) 電子図書館システム（11年度導入）の概要

棚橋委員から、資料に基づき電子図書館システム（11年度導入）の概要について報告があった。

(4) 平成12年度導入図書館システムについて

砂原委員より、平成12年度導入図書館システムについて、以下のような報告があった。

- ・今回は第2期分の更新と新規追加分（一次情報蓄積システム、デジタルビデオシステム、検索システム、ネットワークシステム）である。このうち、デジタルシステムのバーチャルスタジオが目玉となる。

- ・ 応札業者は2社で、落札業者は、西日本電信電話(株)である。
- ・ 借上げは、平成13年1月1日なので、12月末には導入される。

< 審議事項 >

(1) 次期図書館システムの構想について

部会長より、「次期図書館システムの構想について」審議事項となっているが、フリートーキングの形式で行いたい旨の発言があった。

図書館システムは平成7年度からの7カ年計画で、平成13年度で計画が終了となる。今後、電子図書館をどのようにしていくか、システム専門部会だけの課題ではないが、意見をいただきたい旨の発言があった。

砂原委員から、以下の3点で可能性がある旨の発言があった。

インフォメーションナビゲーション：利用者のための情報ナビゲーション利用者の要求に対してすばやく検索のできる、ナビゲーションシステムの一つ可能性として、メタデータを使ったナビゲーションシステムも考えられる。

出版業界等との連携：共同研究、コンソーシアム、TL0、分散サーバなど

情報の発信側（出版社や電子図書館システムの製作会社等）と連携（コンソーシアムを組むことやプロジェクトを作ることなど）し、研究成果情報の流通プロセスをシステム化する。

図書館の役割：情報の発信

図書館の役割は、情報を発信することであり、論文ベースの情報発信にとどまらず、例えばハードウェアの回路図、ソフトウェア、生物の組織標本等が考えられ、実現の可能性を検討する。

各委員からは、

- ・ 次期電子図書館システムとしては、どこにもないものをめざしたい。
- ・ 横断的な連携プレーで次の図書館を目指す。

など、ソフトウェアに重点をおいた次期図書館システムについて種々意見交換がされた。

また、棚橋委員より今年の秋には、目に見えるものを出したい旨の

発言があり、部会長より、“平成14年度以降の案をどうするかが迫られているので、近々に次回の会議を開催する必要があるが、研究開発室からシステムの方角性についての案が出されてから開催したい”との発言があった。